



↑映画化された3つの作品

□前菜:植物図鑑 作者 有川浩 幻冬舎文庫

Q 前菜に選んだ理由は何ですか？

A 短編の物語なので読みやすいと思いました。

軽い話の内容で手軽に読めると思います。

Q 買ったきっかけは何ですか？

A「植物図鑑」は有川浩の小説で2番目に知った作品です。

「小説なのに図鑑!？」と題名に衝撃を受け、買いました。

Q 作品の好きな所はどこですか？

A 小説を読んでいくと様々な植物のご飯が出てくるんですけど、とても美味しそうで食べたくなる所です。

作り方も書いてあって、自分で想像したりすることもあります。

Q 作品に出てくる植物料理の中で食べてみたい料理はありますか？

A ふきのとうの天ぷらは食べてみたいです。

苦いらしいですが、興味本位で食べたいと思っています。

Q 作品を読んで衝撃を受けた所はどこですか？

A1 番最初のページに植物の紹介があった所です。

そんな小説見たことなかったのでびっくりしました。



↑植物紹介のページ



メイン:図書館戦争 作者 有川浩 幻冬舎文庫

Q メインに選んだ理由は何ですか？

A この小説が有川浩を好きになるきっかけでした。

一冊でドキドキと緊迫感の2度楽しめて、今までにない設定など自分の中で衝撃を受けた作品だったのでメインに選びました。

Q なぜ有川浩を好きになったのですか？

A 有川浩のふわっとした優しい表現がいいなと思ったからです。

内容も分かりやすく、自分の中で読みやすいなと思いました。

Q 漫画を買ったのは何故ですか？

A 小説を読んでいるとその場面を想像しますが、自分の頭の中の想像と漫画がどう違うのかどう同じなのか気になり買いました。

Q 作品の中で好きなシーンはどこですか？

A 新人の女の子が教官に跳び蹴りするシーンです。

序盤のほうから教官に跳び蹴りするなんて面白くて好きでした。

この二人は後々付き合うんですが、付き合うからこそ最初の跳び蹴りするというのが印象に残っています。

後のストーリーを知るほど、このシーンが好きになっていきました。



Q 買ったきっかけは何ですか？

A メインに選んだ「図書館戦争」のストーリーにこの小説の主人公が出てきて、読んでみたいと思って買いました。

Q 好きなシーンはどこですか？

A 聴覚障害者の主人公と健聴者の恋人が喧嘩をするシーンです。

聴覚障害者には聴覚障害者の考え方が、健聴者には健聴者の考え方があって分かりあえない様子が自分の中で考えさせられました。

いくら相手の気持ちを考えても、実際にその人にならないと相手の気持ち分からないんだと思いました。

Q 作品を読んで思ったことは何ですか？

A 聴覚障害者の主人公がエレベーターの中にいるときにエレベーターの音が聞こえないシーンがありました。

私たちが普段聞いている当たり前の音が聞き取れないことに切なくなりました。



↑インタビューを受けている飯島さん



↑今回紹介した3冊の小説

ごちそうさまトーク  

今回インタビューして質問の仕方やまとめ方などたくさんのことを学びました。

相手の好みや思っていることも自分とは全然違ってインタビューしていて楽しかったです。

でも聞きながら、相手のことをまとめるのは少し難しかったです。

本のインタビューをしているのに相手の性格や好みが分かってきてこの授業はすごいなと思いました。